



令和元年9月1日現在	
総世帯数	7,706世帯
総人口	16,997人
男	8,502人
女	8,495人

夏休み世代間交流会

「もう少し右へ行きすぎ!そこだー!」去る7月29日(月)に芳川体育館で行われた、福祉ひろばの世代間交流会でのひとコマです。



芳川児童センターの児童とやまびこ保育園の園児70名が、地域のボランティアの皆さんと一緒にレクリエーションやスイカ割りをして、楽しい時間を過ごしました。体操やボールを使ったゲーム、新聞紙を丸めたのキャッチボールなど、夏休みでなかなか体を思い切り動かせない子どもたちが、広い体育館をめぐって使った様子が見られました。

世代の垣根をこえて一緒に取り組むことのできる交流会を、今後も続けていきたいと感じました。



毎年恒例 夏休みの 七夕まつりイベント

8月18日(日)野溝公民館で七夕まつりイベントが行われました。町会の子どもからシニア世代まで、幅広い世代の32名が参加。



まんじゅうの中身は、あんこ、なす味噌、肉団子の三種類。子どもの小さな手では難しい作業もあったが、包み慣れたベテラン主婦たちが優しく教えていました。

町会でのまんじゅうづくりは15年程前から続く行事で、その頃から携わるメンバーも多く、まんじゅう係として重宝されています。今回もまんじゅう係が、うまくできるコツなどを教えながら、おいしい七夕まんじゅうが出来上がりました。蒸しあがりもきれいで、子ども達もおいしそうに頬張っていました。

涼しい部屋で勉強を!

猛暑の中、涼しい学習環境をと、8月5日(月)7日(水)の三日間、芳川小学校の高学年の児童に視聴覚室を開放しました。地域のボランティアの皆さんが見守り隊になり、7日には、芳川小で教育実習をする大学生も加わりました。「涼しいし、友だちもいるから、夏休みの学習帳も家にいるより進む」と勉強も、その間のゲームも楽しんでいました。

ケイスケのバンドタイムサーカス開催!!

8月10日(土)芳川体育館で、芳川地域づくり協議会青少年育成部会による、サーカスアーティスト金井ケイスケさんのバンドタイムサーカスショーが開催されました。



ケイスケさんの様々なパフォーマンスに驚きの声が上ががり、体育館が不思議な空間に。参加型のパフォーマンスもあり、子どもも大人も大いに盛り上がり、笑い声が絶えない笑顔の時間が続きました。子どもたちからは「来年もまた観たい!やりたいたい!と嬉しそうに眼を輝かせていました。」

食育学級パッキングクッキング!

芳川公民館と芳川保育ゆりかご会共催の食育学級では、4月に植え、7月末に収穫したじゃがいもをふんだんに使ったカレーを、パッキングクッキングで作りました。今年から近くで畑作を営む皆さんのグループ、寺田会の面々にご指導いただき、大豊作でした。

ゆりかご会の手ほどきで、親子で楽しく食材を袋に詰め待つこと45分、「自分たちで育てた野菜の味は格別だね。」「パッキングクッキングは初めてだけど、家でも簡単にできるね。」などと話もはずませていました。

※パッキングクッキングは、耐熱性の袋に食材を入れて湯せんする調理方法で災害時にも役立ちます。



芳川地区各町会の夏祭り 思い出紹介



美芳町 子どもまつり



村井町 夢来(むらい)夏祭り



美芳町 子どもまつり



平田 平田神社例大祭「浦安の舞」



村井町 夢来(むらい)夏祭り



永五 夏祭り



小屋 夏祭り



北原町(青山様・ほんぼん)



令和へと時代が変わり、遺族会を取り巻く環境の変化もあり、従来の慰霊祭を一区切りとし、今年から新たに「芳川地区平和祈念式典」として挙行了しました。

式典後の講演会では、手塚英男先生が戦争を振り返る「紙芝居」を披露、小学生30人をはじめ多くの参加者が、改めて平和の大切さを胸に刻みました。

9月14日(土)、旧芳川小学校跡地の忠魂碑前で、平和祈念式典が開催されました。

平和祈念式典



第27回芳川地区マレットゴルフ大会

第27回芳川地区マレットゴルフ大会が7月28日(日)に、信州スカイパークマレットゴルフ場・らいちようコースで開催されました。

猛暑の中、27名のプレイヤーが18ホールの熱い戦いを繰り広げ、技を競い交流を深めました。夏の日差しが照りつけるスカイパークで、プレイヤーの笑顔がまぶしい大会となりました。



- 男子
- 優勝/中澤 貢さん
 - 準優勝/高山 則夫さん
 - 3位/牛丸 三さん

- 女子
- 優勝/田中 美寿子さん
 - 準優勝/胡桃 君子さん
 - 3位/牛丸 啓子さん

たちばなし

秋風が心地よく、8月の猛暑がうそのように感じられる今日この頃です。

今年の夏は、職場の仲間と飛騨高山に行ってきました。ロッカーの鍵に付いている「さるぼぼ」のキーホルダーを見た同僚が「何これ？可愛い欲しい」と言い出した事を切っ掛けに、ドライブがてら2年ぶりの飛騨高山へ…。

いつもは、美味しい飛騨牛を食べ、古い町並みを散策するお決まりコースに、今回は「さるぼぼ」に興味津々の同僚のために、さるぼぼ作りの体験ができる「飛騨の里」へも行ってみました。昔の集落を再現した里の中、涼やかな風が通り抜ける古民家で、地元の方に「さるぼぼ」の由来を聞きながら完成した「マイさるぼぼ」は思っていたより大きめのとても愛らしい、ご利益もありそうな物になりました。



※さるぼぼとは、猿の赤ちゃんという意味があり「猿」という読みをかけて、災いが猿(さる)家庭猿(えん)満、猿(えん)結びなど厄除けやお守りとして昔から親しまれていくそうです。